

# 施設親善ポッチャ交流会

平成18年6月21日（水）姫路市立夢前町ふれあい体育館において、第30回施設親善ポッチャ交流会が開催されました。身体障害者福祉施設利用者及び職員間の交流を深め、ポッチャ競技を理解し、ゲームを楽しむことが目的です。



当施設からは6名が参加しました。ポッチャはリハビリの一環としてレクリエーションの中にも取り入れられている人気のスポーツです。日頃の練習の成果を発揮しようとジャックボールめがけて一生懸命がんばりました。尚、この交流会は、県下の色々な会場で開催されています。

# 障害者地域生活支援センター開設

7月中旬より龍野ショッピングセンター内に地域生活支援センターを開設する運びとなりました。障害のある人が普通に暮らせる地域社会づくりの一環として、当施設利用者の方々と在宅の障害者や地域住民のふれあいの場となるようにしていきます。在宅の障害者の方にも憩いの場として利用していただきます。地域の方々に福祉に対する理解をふかめてもらうために色々なPR活動を行います。在宅の障害者や家族の生活に関わる様々な相談も受け付けます。

施設での日常訓練や創作活動の一部を場所を変え地域社会の中で行い、完成した作品の展示も行います。日時を設定し、実際に訓練や創作活動も行うようにしていきます。施設利用者の自立に向けた地域社会における活動の拠点としていきます。

食中毒は食品、添加物、器具、容器包装に起因する中毒で原因は細菌、化学物質、自然毒などがあります。日本では80%以上は細菌性です。細菌性食中毒の主な原因菌はサルモネラ、腸炎ビブリオ、腸管病原性大腸菌、ブドウ球菌、カンピロバクターです。季節的には通年性の発生に加えて梅雨時期6月から9月に多発します。

## 食中毒に気をつけよう

### 栄養士コラム

「菌をつけない」  
「増やさない」  
「殺菌する」



①サルモネラは一般的には患者数が最も多い原因菌。食肉、ネズミ、ハエ、ゴキブリなどが媒介。最近鶏卵による汚染も多い。12～36時間で嘔吐、発熱、腹痛、激しい水様便が見られる。

②腸炎ビブリオによる食中毒は、ほとんどが7月から9月におこり、生または加熱処理が不十分な魚介類が原因。

③腸管病原性大腸菌は人の腸管に感染して急性の胃腸炎や下痢症を引き起こす大腸菌群で5種類が知られています。

④ブドウ球菌は年間を通じて発生し原因食品も一定ではなく、汚染されている食品を摂取して1～3時間で悪心、嘔吐、下痢が見られます。

### 予防策

手洗いの励行！台所・器具の洗浄・除菌！  
新鮮な食材を使用！80度以上で十分に加熱！

# 卵細工 最優秀賞受賞！

平成18年5月13日、リバティ神戸で、第22回兵庫県身体障害者療護施設合同作品展の表彰式が行われました。書道、絵画、手芸・工芸、詩・短歌・俳句の4部門に分けて表彰が行われました。10施設から15名の方がそれぞれの自慢の作品を出品されました。

今回、手芸・工芸の部において西はりまナーシングヴィラの岡野さんが「卵細工」で最優秀に選ばれました。



当施設でもたくさんの利用者さんが趣味の細工や編み物などを作られています

参加者全員での記念写真です。これからも楽しくすばらしい作品を作ってくださいね (^ ^ ) v



## 7月の予定

誉田幼稚園七夕交流会  
全国障害者スポーツ大会  
強化練習

お堂参り  
誕生日会  
赤穂夏祭り（虹の茶屋）  
映写会  
海体験

## 8月の予定

ローリングバレー大会  
誕生日会  
お堂参り  
買い物外出  
車椅子ダンス教室  
買い物外出  
ふれ愛祭り

## ～編集後記～



夏至も終わり夏が近づいてきました。梅雨明けは、7月中旬になりそうで、沖縄では早くも梅雨明けしたそうです。リハビリセンター周辺の田んぼの苗もすくすくと育っています。雨にうたれた紫陽花も七変化をしながら笑ったように見えませんか。

### 医務室コラム

## プール熱

医学用語では「咽頭結膜炎」といいます。

原因：アデノウイルスという微生物が接触感染によって人の体に寄生するためである。主に、プールを介して感染することが多い。

症状：のどの痛み、結膜炎、高熱などが4～5日続く。

予防法：プールから上がった後、よく目を洗う。  
よくうがいをする。タオル、洗面器などを共有しない。  
手洗いをこまめにする。

☆ウイルスは、粘膜から侵入し感染します。感染に注意し粘膜を清潔に保つことを心がけて下さい。